

R 5. 9. 15

地元建設業と高校等との交流会」

主催：建設業協会東青支部・青年部会

共催：青森県

【 参加者 164 名 … 生徒 97・学生 14・教員 7、県 3、協会 14 社 43 名 】

協会 鹿内東青支部長挨拶



青年部会 佐藤幹事挨拶



青工 1～2 年 97 名、技専校 10、八工大 4



○ 企業ブース個別相談



○ 体験発表 (株)青洋建設



志田内海(株)



(株)西田組



○ 各グループ意見交換



○ 県より情報提供・アドバイス (監理課、東青地域整備部、労政能力開発課)



R 5. 9. 15 「地元建設業と高校等との交流会」 アンケート結果と今後の対応 (9/19)

青森県建設業協会 東青支部・青年部会

※ 生徒・学生の出席者 111 名より 100 名分回収し集計 (参考) 出席者 164 名 (生徒 97+学生 14+教員等 7+協会 43+県 3)

	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	計
問1 参考になりましたか	70	20	7	2	1	100 名
問2 期待していた情報は得られましたか	65	20	12	3	0	100
問3 説明は分かりやすかったですか	70	20	8	1	1	100
問4 次第の内容について	67	24	8	1	0	100
問5 各時間配分について	47	18	15	13	7	100

問6 今後の交流会で内容の追加ほか要望

- 今回とほぼ同様の交流会 85 名
- 内容の追加ほか 5 名
 - ・ 役立つ資格を教えてほしい。個別相談の時間を長くしてほしい。時間の使い方をスムーズに。
 - ・ 個別相談での待ち時間の間に何か楽しめるものが欲しい。青森市役所の人達の話も聴きたい。

問7 今回の交流会について、意見や要望 (記入者 24 名)

- 1 企業ブースでの個別相談時間 1 人 10 分はもう少し長くしてほしい など 11
- 2 内容は大変良かった、楽しかった、参考になった など 4
- 3 各社の魅力などに気が付いた
- 4 多くの企業の話聴けて有意義であった
- 5 体験談をもっと聴きたい
- 6 企業をもう少し追加してほしい
- 7 丸テーブル意見交換での企業の人流れが悪い
- 8 BGM は良いが個別相談時は音量を少し下げてほしい

《 参考 》

【 学校の意見を聴取 】

- ・ 来年から 2 年生だけにしてほしい。(1 年生と教員も他スケジュールもあり負担になっていることなどから)
- ・ 場所は、生徒の移動を考慮し、駅に近い「アラスカ会館」にしてほしい。
- ・ 開催時期は、9～10 月が適当(7 月までは難しい)。日程は 2 月から調整し新年度スケジュールに入れる。

【 協会事務局 今後の対応 】

- ・ アンケート結果は概ね満足なので継続し工夫もする。学校の意見は十分配慮し、連携して進める。
- ・ 企業ブース個別相談は 1 人時間を 20 分に延ばす。丸テーブル意見交換は企業を固定し生徒入替に。
- ・ 要望の「待ち時間の活用」は「建設業の主な資格(ガイドブック添付)」を丸テーブルで紹介・説明する。

地元建設業と高校等との交流会 席図

R 5. 9. 15 1:00~4:20 ホテル青森3F 孔雀

「建設業の新4Kを目指して」

ステージ

建設業協会青年部会東青支部 幹事 ○
建設業協会 東青支部長 ○
司会(事務局) ○

(1:50 主催者挨拶)

○ 青 森 県 労政能力開発課
○ " 監理課
○ 東青地域整備部

1:00~1:50 と 3:30~4:20
個別相談・生徒 10分で入替

2:00 ~ 2:10
体験発表 3名

2:10~3:10 意見交換 各テーブル
若手技術者 10分で時計回り移動

3:20~3:30
県情報・アドバイス

(企業ブース) (生徒)

- ○ 鹿 内 組 ○
- ○ 仕 木 ・ 建 築 ○
- ○ 西 田 組 ○
- ○ 仕 木 ・ 建 築 ○
- ○ 志 田 内 海 ○
- ○ 仕 木 ・ 建 築 ○
- ○ 大 坂 組 ○
- ○ 仕 木 ・ 建 築 ○
- ○ 木 村 建 設 ○
- ○ 丸 美 佐 藤 組 ○
- ○ 仕 木 ○
- ○ 藤 本 建 設 ○
- ○ 仕 木 ・ 建 築 ○
- ○ 青 洋 建 設 ○
- ○ 仕 木 ○

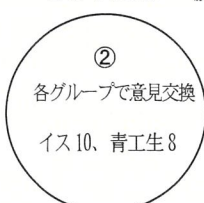
(企業ブース) (生徒)

- ○ 阿 部 重 組 ○
- ○ 建 築 ○
- ○ 黄 金 工 務 店 ○
- ○ 建 築 ○
- ○ 丸 喜 齋 藤 組 ○
- ○ 建 築 ○
- ○ 成 文 組 ○
- ○ 建 築 ○
- ○ 倉 橋 建 設 ○
- ○ 建 築 ・ 土 木 ○
- ○ 北 斗 建 設 ○
- ○ 建 築 ○
- ○ 盛 興 業 社 ○
- ○ 建 築 ○

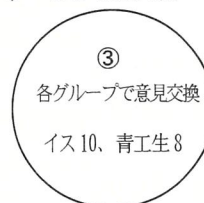
○ ○ 鹿 内 組



○ ○ 西 田 組



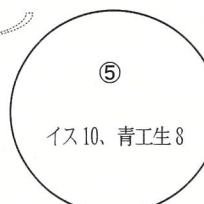
○ ○ 志 田 内 海



○ ○ 丸 美 佐 藤 組



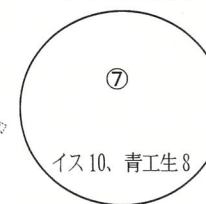
○ ○ 青 洋 建 設 ・ 木 村 建 設



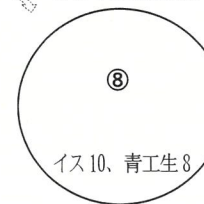
○ ○ 大 坂 組



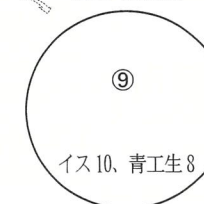
○ ○ 黄 金 工 務 店



○ ○ 丸 喜 齋 藤 組



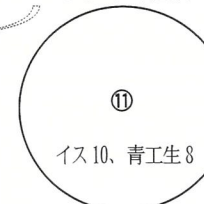
○ ○ 成 文 組



○ ○ 盛 興 業 社



○ ○ 北 斗 建 設



○ ○ 倉 橋 建 設



○ 阿 部 重 組 ○ 黄 金 工 務 店



○ 西 田 組 ○ 志 田 内 海



○ 藤 本 建 設 ○ 青 洋 建 設



各社は
10分で
①~⑥を
移動

各社は
10分で
⑦~⑫を
移動

各社は
20分で
⑬~⑮を
移動

(関係者 ~ 学校関係)

(プレス)

(関係者)

県建設業協東青

地元15社が特長PR

高校生ら招き交流会開催

一般社団法人・青森県建設業協会東青支部(鹿内雄二支部長)と同協会青年部会東青支部は15日、地元建設業と高校等との交流会を青森市のホテル青森で開催し、会員企業15社が地元で働くことの魅力や自社の特長などをPRした。

(新合徹)



この取り組みは、地域に密着する各企業の特色を高校生らに知ってもらい、地元への就職を考える足掛かりにしてみようという2018年度から行っている。各企業のブースで説明を聞く生徒ら

る。4回目(20、21年度は非開催)となる今回は、地元建設業の代表者や若手技術者ら45人と、青森工業高校や八戸工業大学などから過去最多となる111人の生徒・学生が参加した。

あいさつに立った鹿内支部長は「自分でつくったものが長い間地域に残り、それを利用する多くの人の生活を支えている。加えて、災害時は自衛隊よりも早期に出動して復旧に当たるなど、多岐にわたって活躍している」と建設業の魅力と役割を伝えた。

交流会では、3社の技術者が体験発表として登壇。現在取り組んでいる業務内容を説明するとともに、これまでの体験談などを交えながら仕事のやりがいを紹介した。また、前後半合わせて100分程度行った個別相談では、生徒らが思い思いに企業ブースを訪ね、代表者や技術者の自社PRを聞いたほか、資格や待遇、業務内容などについて質問していた。

参加企業は次の通り。
▽鹿内組▽西田組▽志田内海▽大坂組▽木村建設▽丸美佐藤組▽藤本建設▽青洋建設▽阿部重組▽黄金工務店▽丸喜齋藤組▽成文組▽倉橋建設▽北斗建設▽盛興業社

地元建設業と高校等との交流会 ＝県建設業協会東青支部＝ 体験発表や相談会など実施

K(感動・カッコいい・結構モテる・稼げる)を目指して、15日、青森市のホテル青森で開催された。

これは、地域の魅力ある企業を理解する機会を学校に提供し、地元の就職促進を図る目的とするもので毎年開催するもの。

県建設業協会東青支部・同協会青年部会東青支部が主催する「地元建設業と高校等との交流会」建設業の新4

当日は東青管内の建設業団体関係者、県、県高等技術専門校生、青森工業高校生、八戸工業大学生、教員などの約163人が出席した。

主催者代表で同協会鹿内雄二東青支部長、佐藤善一青年部会幹事が挨拶したあと、技術者代表3名が「ものづくりの魅力」をテーマに、仕事のやりがい、アドバイスなど地元で働く理由の体験発表を行った。

その後、グループ単位による若手技術者への質疑応答を行ったなど交流を深めた。企業別ブースでの生徒からの

志田内海(株)大坂組(株)木村建設、(株)丸美佐藤組、(株)藤本建設、(株)青洋建設、(株)阿部重組、(株)黄金工務店、丸喜齋藤組、(株)成文組、倉橋建設(株)、北斗建設(株)、盛興業社



【技術者の説明を熱心に聞く学生たち】